茅ヶ崎市職員旅費条例等の一部を改正する条例をここに公布する。

令和7年3月28日

茅ヶ崎市長 佐 藤 光

茅ヶ崎市条例第5号

茅ヶ崎市職員旅費条例等の一部を改正する条例

(茅ヶ崎市職員旅費条例の一部改正)

第1条 茅ヶ崎市職員旅費条例(平成20年茅ヶ崎市条例第4号)の一部を次のように 改正する。

第6条第1項中「、日当」を削り、同条中第6項を削り、第7項を第6項とし、第 8項から第14項までを1項ずつ繰り上げる。

第9条を次のように改める。

第9条 削除

第17条を次のように改める。

第17条 削除

第21条中「第17条第1項の日当定額の5日分及び」を削る。

第22条第1項第1号ア及びウ中「日当、」を削る。

第24条第2号中「で、その実費額が当該旅行について支給される日当額の2分の 1に相当する額を超える場合には、その超える部分の金額」を「には、その実費額」 に改める。

第27条ただし書中「並びに」を「及び」に改め、「日当及び」を削る。

第31条の見出し中「日当、」を削り、同条第1項中「日当及び」を削り、「別表第2の定額による」を「14,000円とする」に改め、同条第2項中「別表第2の定額の10分の7に相当する額による」を「9,800円とする」に改め、同条第3項中「別表第2の定額による」を「5,000円とする」に改める。

第32条第1項及び第34条第1項中「別表第3」を「別表第2」に改める。

第35条第2号ア中「日当及び」を削り、同号アただし書中「日当については30日分、宿泊料については」を削る。

別表第2を削り、別表第3を別表第2とする。

(茅ヶ崎市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正) 第2条 茅ヶ崎市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和3 1年茅ヶ崎市条例第11号)の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第2及び別表第3」を「、内国旅行の旅費については食卓料として1夜につき2,400円、外国旅行の旅費については別表第2」に改める。

別表第2を削る。

別表第3の1の表を次のように改める。

1 航空賃、宿泊料及び食卓料

旅客運賃の等級を2以上の階級に	宿泊料	食卓料
区分する航空路による外国旅行に	(1夜につき)	(1夜につき)
係る航空賃		
最上級の直近下位の級の旅客運賃	15,000円	6,000円

別表第3を別表第2とする。

(茅ヶ崎市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正)

第3条 茅ヶ崎市特別職の職員の給与等に関する条例(昭和33年茅ヶ崎市条例第8号

) の一部を次のように改正する。

第6条中「別表第1及び別表第2」を「、内国旅行の旅費については食卓料として 1夜につき2,400円、外国旅行の旅費については別表」に改める。

別表第1を削る。

別表第2の1の表を次のように改める。

1 航空賃、宿泊料及び食卓料

旅客運賃の等級を2以上の階級に	宿泊料	食卓料
区分する航空路による外国旅行に	(1夜につき)	(1夜につき)
係る航空賃		
最上級の直近下位の級の旅客運賃	15,000円	6,000円

別表第2を別表とする。

附則

- 1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の茅ヶ崎市職員旅費条例、第2条の規定による改正後の 茅ヶ崎市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び第3条の規 定による改正後の茅ヶ崎市特別職の職員の給与等に関する条例の規定は、この条例の 施行の日以後に出発する旅行について適用し、同日前に出発した旅行については、な お従前の例による。